



かい がい せい かつ  
海外生活  
レポート

21



【大韓民国】  
KOREA

富川市庁舎 ▶



# 友好都市・富川市での勤務を通じて感じる韓国

ブジョン



レポーター  
川崎市総務局国際施策調整室  
おさない だいすけ  
小山内 大輔さん  
●韓国・富川市在住

アニョハセヨ。私は川崎市の職員交換派遣制度により、友好都市である大韓民国・富川（ブジョン）市で、今年の5月から勤務しています。韓国には、大学時代に短期留学をしましたが、今回は仕事や生活を通じて以前とは違う貴重な経験や勉強をしています。

## 派遣期間中の仕事内容

主に川崎市と富川市の市民交流の支援や、韓国における行政や社会制度に関する調査、業務上必要となる韓国語能力の習得などに努めています。

## 職場の環境

現在川崎市では庁舎建替のための計画が進められていますが、富川市庁舎は写真のとおり重厚なつくりとなっており、大きいものを好む韓国らしい一面が現れていて面白いと思っています。また、職場に観葉植物が多く置かれているのも特徴的です。

## 仕事上で感じる文化の違い

仕事をするうえで一番違いを



大韓民国  
面積：約10万km<sup>2</sup>  
人口：約5000万人  
首都：ソウル

感じるのは、情報共有の仕方です。ほとんどの情報は、電話や「メッセージ」<sup>(※1)</sup>などの1対1でのやりとりで交換されます。庁舎内には会議室がほとんどなく、係内の打ち合わせもありません。そういうわけで、私に限らず他の職員も、それぞれの予定などを細かく把握しておらず、飲み会があることを当日まで知らされなかった、なんてこともありました（笑）。一方で、いざという時の対応はとにかく速いです。先日宿舍のドアノブが故障したのですが、富川市の担当職員に連絡したところ半日で工事が終わり、その迅速な対応がとても印象的でした。

## 個人的な韓国あれこれ

私の職場は比較的年齢層が高いためか、日本の話をすると、韓国でも人気がある日本のアニメやドラマなどではなく、寿司や天ぷら、温泉などの話題が中心になります。



▲観葉植物がたくさんある市庁舎内

今回発見したものの一つに、日本ではあまり見かけない美味しい韓国料理「ヤンニョム<sup>(※2)</sup>オリコギ」があります。「オリコギ」とはアヒルまたは鴨の肉を意味するのですが、ビタミンが豊富で美容にも良いそうです。特に、甘辛いヤンニョムとの相性は抜群で、オリコギの油で作る炒めごはんも美味しいです。

最後に、韓国の方は政治全般に対する関心が非常に高いと感じます。そのため、実際に生活していると、日韓の政治的な問題について意見を求められることもありますが、純粋に興味本位で聞かれる場合も多いです。ですので、そういったときはきちんと自分の考えを持ち、伝えることが大切だと思います。また、何事も常に冷静に判断し、異文化を理解する心を持つことが大事だと実感しています。そして、川崎市と富川市の国際交流が、市民レベルでも今後さらに進んでいくことを期待し、私はその一助になりたいと思っています。

（文・写真：小山内 大輔）

※1 インターネットを使ったメッセージのやり取り  
※2 ヤンニョム：韓国の合わせ調味料の総称。コチュジャン、テジャン（韓国味噌）、ゴマ、トウガラシ、ニンニク、ショウガなど、複数の材料を混ぜてつくる。